

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-5
交通安全対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

道路維持課長 山崎泰助

電話番号

0852-22-5187

事務事業の名称	安全な歩行・走行のための道路整備事業（第二種二道路附属物設置）	
目的	(1) 対象	道路利用者
	(2) 意図	より安全で快適に道路を歩行・走行できるようにする
事業概要	道路利用者がより安全で快適に道路を通行できるよう、道路附属物（防護柵、路面標示、道路照明など）の整備を行う	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	防護柵整備率	目標値	31.2	31.9	32.7	33.7	%
	式・定義	累計整備延長/全体計画延長（373.3km）	取組目標値					
			実績値	30.5				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	243,374	205,044
うち一般財源 (千円)	10,141	8,145

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成19年に策定した「車両防護柵整備方針」にそって、防護柵（ガードレール）の整備を計画的に行っている
この方針は、整備箇所を危険性から優先順位（注）付けし3段階に分類、危険性の高い箇所（優先順位1）から優先的に整備するものであり、近年予算実績より算出
平成27年度防護柵（ガードレール）整備状況
（注）優先順位は旅行速度、交通量、鉄道等への逸脱した場合等の社会的影響を勘案して点数化

優先順位1	計画延長 7km	整備済延長 6km	整備率 80%
優先順位2	計画延長 115km	整備済延長 62km	整備率 54%
優先順位3	計画延長 250km	整備済延長 45km	整備率 18%
合計	計画延長 373km	整備済延長 113km	整備率 31%

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内の交通事故は発生件数、死傷者とも減少傾向にあり、道路附属物の整備による一定の効果が認められる

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
防護柵（ガードレール）は、危険性の高い箇所（優先順位1）を優先的に整備しているが、未整備箇所の対策が鈍化している
また、整備箇所以外での事故も発生している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
防護柵設置箇所の道路構造上の問題（道路幅員が狭いことなど）で、防護柵が設置不可能な箇所がある
- ③原因を解消するための「課題」
道路改良事業による防護柵整備等、他事業との連携が必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

防護柵設置不可能箇所は、道路改良事業等の整備状況と調整を行いつつ、改良完成までは他の手法（危険箇所の注意喚起など）により道路通行の安全を図る
それ以外の箇所は、引き続き、着実に整備を進める
また、今後も、公安委員会と連携して交通安全対策の推進（道路附属物の整備）に取り組む必要がある

9. 追加評価（任意記載）

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。